

女は微笑む顔で、鬼になる。

# 阿修羅のごとく

あしゅら

長女・綱子…秘めた愛 大竹しのぶ  
次女・巻子…疑いの愛 黒木 瞳  
三女・滝子…純粋な愛 深津絵里  
四女・咲子…激しい愛 深田恭子

小林 薫 中村獅童 RIKIYA / 桃井かおり 坂東三津五郎  
木村佳乃 益岡 徹 佐藤恒治 長澤まさみ 紺野美沙子

八千草 薫 仲代達矢

監督:森田芳光 原作:向田邦子

「阿修羅のごとく」新潮文庫刊・文春文庫刊

脚本:筒井ともみ 製作:本間英行 製作統括:島谷能成・安永義郎・加藤春樹・古屋文明 プロデューサー:市川 南 アソシエイト・プロデューサー:春名 慶・三沢和子  
撮影:北 信康 美術:山崎秀満 録音:橋本文雄 照明:渡邊孝一 編集:田中慎二 助監督:杉山泰一 製作担当者:川田尚広・橋本 靖  
音楽:大島ミチル エンディング・テーマ:「ラジオのように Comme à la Radio」歌:Brigitte Fontaine 作詞・作曲:Brigitte Fontaine/Areski Belkacem サウンドトラック盤:オーマガトキ  
「阿修羅のごとく」製作委員会作品(東宝・博報堂・毎日新聞社・日本出版販売) 製作:東宝映画 配給:東宝 ©2003「阿修羅のごとく」製作委員会

第16回 東京国際映画祭 オープニング上映作品 特別招待作品部門 2003年 モントリオール映画祭 コンペ部門 正式出品作品

asyura-movie.jp

202006-202 題字:山崎 二 撮影:萩尾社大

# 向田邦子最高傑作！ 今を生きるすべての女性に贈る ”四つの愛“の物語



昭和を代表する名シナリオライターにして直木賞作家だった向田邦子が、突然の飛行機事故で亡くなってから22年。あーん“時間ですよ”寺内貫太郎一家“などで、日本中を楽しませた彼女の才能を、今また再評価する機運が高まっています。

向田邦子は、一貫して「愛」を描きつけた作家でした。中でも最高傑作と言われるのが、この「阿修羅のごとく」です。

阿修羅とは、表面的には穏やかながら、実は猜疑心が強く、言い争いの象徴とされるインドの神のこと。物語は、平常な家庭の日常に、「父親の浮気」という一石が投げられるところから始まります。その事件をきっかけに、姉妹それぞれが包み隠している葛藤があぶり出されてきます。まるで「阿修羅」のようにその表情を変える女性たちの、時に深刻で時に笑えるそれぞれの愛の物語。四姉妹の胸に衣着せぬ本音のやりとりと、誰もがきつと自分の心の内を発見してドキッとし、そしてホロリとさせられるでしょう。



第16回東京国際映画祭 オープニング上映作品 特別招待作品部門

2003年 モントリオール映画祭 コンペ部門 正式出品作品

あらすじ

昭和54年冬。三女・滝子（深津絵里）の突然の呼びかけで、久しぶりに竹沢家の4姉妹が集まった。70才を迎える父・恒太郎（仲代達矢）に、愛人と子供がいるというのだ。俄かには信じられないが、滝子の雇った探偵の写真には、見知らぬ女性と子供と写る父の姿があった…。

母・ふじ（八千草薫）の耳には入れないようにしよう、と約束する姉妹。この事件をきっかけに、「見平和に見えた女たちがそれぞれに抱える、日常のさまざまな事件が露呈してくる。

未亡人の長女・綱子（大竹しのぶ）は、華道の師匠で生計を立てており、出入りの料亭の妻である男性と付き合っているが、その妻に勘付かれてしまう。次女の巻子（黒木瞳）は、サラリーマンの夫と2人の子供と平凡な家庭を営んでいるが、最近夫の浮気を疑い始め、心乱れる日々。図書館に勤める三女の滝子は、潔癖症の性格が災いして嫁き遅れている。父の愛人の調査を頼んだ内気な青年と恋愛感情はあるのだが、その恋はなかなか進展しない。四女の咲子（深田恭子）は、売れないボクサーと同棲中。母・ふじだけは、夫の愛人問題も耳に入っていないのか、泰然と日常を過ごしているようだった。

しかし、ある朝の新聞に、「父親の浮気に悩む姉妹の一人」の投書が掲載される。これを書いたのは一体誰なのか？ 父の浮気をふじは気がついてしまったのか。その時、張本人の恒太郎は…。

## 女はまさに「阿修羅な生き物」 豪華俳優陣の競演

長女（45歳）は不倫中。女優が揃いました。監督は、次女（41歳）は夫の浮気に「家族ゲーム」「失楽園」のやきもき。三女（29歳）は恋愛向田邦子賞受賞作家で、森田芳光。脚本は、自身も愛下手。四女（25歳）は同田監督とはそれから、「失楽園」でコンビを組んだ筒井とみ。漠然とした不安が人の心に宿るこの時代、現代を代表する最高のスタッフ・キャストが昭和の日本が持っていた「家族」の姿を通して、心温まる笑いと深い感動をお届けいたします。

### 登場人物

三田村綱子 長女  
里見巻子 次女  
竹沢滝子 三女  
竹沢咲子 四女  
里見鷹男  
勝又静雄  
陣内英光  
大竹しのぶ  
黒木瞳  
深津絵里  
深田恭子  
小林薫  
中村獅童  
RIKIYA

枡川貞治  
枡川豊子  
赤木啓子  
緒方  
宅間  
里見洋子  
土屋友子  
ナレーション  
坂東三津五郎  
桃井かおり  
木村佳乃  
益岡徹  
佐藤恒治  
長澤まさみ  
紺野美沙子  
加藤治子  
八千草薫  
仲代達矢

監督●森田芳光 原作●向田邦子 脚本●筒井とみ  
「阿修羅のごとく」製作委員会作品（東宝・博報堂・毎日新聞社・日本出版販売）  
製作●東宝映画 配給●東宝 ©2003「阿修羅のごとく」製作委員会

asyura-movie.jp

11月8日(土) 全国東宝洋画系ロードショー